

VIII. 管理運営

1. 法人組織の管理運営体制

(1) 各委員会

1) 学園関連委員会

a. 短期大学（部）学長会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学組織及び業務分掌規程第7条第2項に基づき設置され、事業報告及び学園基本方針に則った各短大の計画について審議する場となっている。
- ・ 委員構成 学長会議は、総長（理事長）が議長を務め、副理事長、各短期大学（部）学長、学長補佐、学務局担当理事、事務局担当理事、高等教育部長、総務部長、その他総長が必要と認める教職員をもって組織している。

b. 短期大学（部）事務室長会議

- ・ 目的 学長会議の円滑な会議運営のため、事前調整と課題提出などの役割を担っている。
- ・ 委員構成 議長は、学務局担当理事が務め、各短期大学（部）事務室長、及び法人本部の高等教育部長及び高等教育課長、その他学務局担当理事が必要と認める教職員をもって組織している。

c. 総合研究機構運営委員会

- ・ 目的 『学校法人東海大学総合研究機構基本理念』に基づき、総合研究機構運営委員会を設け、研究活動を推進するために定めた事項を審議する。
- ・ 委員構成 委員長は理事長とし、委員は常務理事、大学・短期大学（部）の学長及び委員長の指名する者とする。

d. 一貫教育委員会

- ・ 目的 学校法人が設置している幼稚園から大学院までの教育の一貫性と融合性の推進を目的として、様々な方法論等を検討、協議し、実践するための企画を立案するために設置された委員会である。この委員会は第一部会から第四部会に分かれ、それぞれのテーマを協議、検討を行っている。
- ・ 委員構成 総長が委嘱する次の委員等をもって構成する。
 - 委員長 総長が任命する理事とし、委員会を総括する。
 - 副委員長 委員長が指名する者とし、委員長を補佐する。
 - 事務局 委員長が指名する者若干名で構成し、委員会および運営委員会の司会進行を行う。
 - 専門部会長 委員長が指名する者とし、各専門部会を総括し運営する。また、必要に応じて副部会長を置くことができる。副部会長は部会長を補佐する。
 - 専門委員 高等教育機関及び初等中等教育機関より委員長が指名する者若干名とし、各専門部会の研究テーマに基づいて審議・研究活動を行う。
(高等教育機関より 38 名、初等中等教育機関より 34 名が指名された。)

・ 研究目標（各部会のテーマ）

(1) 『第一部会』【研究目標】建学の指針を基調とした一貫教育における教育目標および教育方針を検討する取り組み

(研究内容)：「学校法人東海大学における教育目標及び教育方針の成文化」は、1995年12月に一貫教育委員会において作成されてから改変され、間もなく20年になる。変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくためには、豊かな心と健やかな体、確かな学力とともに自ら困難に立ち向かう強い意志と、社会に対する使命感など「精神の力」ともいべきものをバランスよく育てることが大切である。そこで部会内に「幼・小」、「中・高」、「短・大」の3つワーキンググループを結成し、建学の精神や理念を基盤とし、社会の環境の変化に応じた新しい「教育目標」及び「教育方針」の成文化を検討する。また、一貫教育における新しいカリキュラムの連続性や、より効果的な教育力向上の方策について検討する

と同時に、実施可能なものは活動に移し、提言を行う。

(2) 『第二部会』【研究目標】**学園の特色を効果的に募集活動や活性化につなげる取り組み**

(研究内容)：幼稚園から大学院まで、各校園では多様で特色ある教育活動を行っている。たとえば地域と連携したスポーツ教育やチャレンジセンターの各種プロジェクトがあげられる。これらの活動は、そのまま学園の活性化につながり、園児・児童・生徒・学生の募集活動に直結するが、どれだけ良い活動を行っても、アピールの仕方によっては募集活動の効果に歴然の差が出てくる。学園内の特色にスポットを当て、それを、どのような方法で魅力的なものに高め、ひいては学園内の意識の高揚や活性化につなげるかを検討すると同時に、実施可能なものは活動に移し、提言を行う。

(3) 『第三部会』【研究目標】**園児・児童・生徒・学生の推進を図る取り組み**

(研究内容)：就寝時間や食生活など、園児・児童・生徒・学生の基本的な生活習慣が乱れることで、学習に対する意欲や気力、体力の低下が大きな社会問題となっている。多様にして複雑な社会環境と家庭生活が子どもたちを取り巻く現在、学園においても懸念される園児・児童・生徒・学生が急増し、自殺やうつ、問題行動や不登校など、学校現場には簡単に解決できない困難な大小の問題が日々起きている。

心と身体の健やかな発育と成長を積極的に推進すべく、健康的で魅力ある新しい教育の在り方を模索する。学園全体で「早寝・早起き・朝ごはん」を普及させ、浸透・定着させることが重要であり、特に学園のスケールメリットを最大限に活用する大きな視点と、教育現場におけるきめ細やか視点を効果的に組み合わせ、健康で、かつ健やかに成長していくためにはどのような健康教育を推進すべきかを検討すると同時に、実施可能なものは活動に移し、提言を行う。

(4) 『第四部会』【研究目標】**女性の教育環境向上を目指す取り組み**

(研究内容)：変化の激しい現代社会において、性別に関係なく、一人ひとりがお互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、それぞれの能力を十分に発揮する機会を確保することが急がれる。昨年度まで検討が続いて「新しく確かな女子教育をめざす取り組み」において行った附属中・高生対象の大規模アンケート結果をさらに詳しく精査・検証する。それを基に、今後如何にして学園内における女性の教育環境向上を高めることができるか、ひいては学園の新たな牽引力としての女性力を向上させることができるかを、多角的かつ具体的な検討を行う。教職員を含めた学園全体で、東海大学型の男女共同参画を推進し、次世代を牽引する人材を育成するための方策を考えると同時に、実施可能なものは活動に移し、提言を行う。

e. 現代文明論教育機関連絡調整会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学が設置する大学・短期大学(部)・初等中等教育機関で実施する「現代文明論」が、法人の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論等を協議することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 蟹江秀明学務局担当理事
 - 委員 橋本敏明高等教育部長(法人)、佐藤恵子(東海大学総合教育センター)、山本康治(短期大学部)、中田芳子(医療技術短期大学)、宮川幹平(福岡短期大学)
 - 飯塚浩初等中等教育課 課長補佐(法人)、難波克彰(現代文明論研究センター)
 - 事務局 小早川真高等教育課長、相澤祐子(法人)

f. 短期大学(部)入試企画委員会

- ・ 目的 入試の基本計画に関する事項、短大(校舎)の入試の調整に関する事項、その他本委員会において必要と認める事項について審議することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 橋本敏明高等教育部長(法人)

- 委員 入試問題作成委員長 柴田正憲（短期大学部 学長）、
辻昭事務室長（短期大学部）、櫻井和好事務室長（医療技術短期大学）、
岩重將成事務室長（福岡短期大学）、
小早川眞高等教育課長（法人）
- 事務局 田村恵子（法人）

2) その他の学務管理

上記以外の学務運営に関しては、法人高等教育部を窓口にして相談し、本学の管理運営を行っている。

2. 本学内の管理運営体制

(1) 学内委員会

※10月1日現在

1) 教授会

- ・目的 本会議は、本学の議決機関として、本学の教育及び研究に関する事項、学生の学籍異動に関する事項、教務及び学生に関する事項、学長の諮問に関する事項、その他必要と認められた事項について審議及び報告することを目的とする。
- ・委員構成
議長 西野 仁 学長
委員 専任教員全員、岩重將成（事務室長）

2) 大学経営会議

- ・目的 本委員会は、本学の議決機関として、本学における教授会への審議事項及び報告事項等を協議し、学校運営に関する諸事項の円滑な実施運営を図ることを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 矢原充敏、神山高行、岩重將成、森田博文
- ・内容 将来構想に関する事項、予・決算に関する事項、教職員人事に関する事項、広報活動に関する事項、短大学長会議及び短大事務室長会議に関する事項、学務に関する事項、大学評価に関する事項などについて調整する中枢機関として、各委員会からの答申に基づいて審議し、教授会審議事項の最終調整機関としての役割を果たす。

3) 大学改革会議

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、本学の教育・研究及び経営に関する事項等を協議し、本学が健全に学校運営を行うことを目的とする。
- ・委員構成
議長 西野 仁 学長
委員 矢原充敏、神山高行、林 鍾大、八尋剛規、宮川幹平、亀田俊隆、岩重將成
- ・内容 大学経営会議とは別に、本学の学校運営状況を多角的に検証・協議し、教育・研究に反映した。

4) 委員会等連絡会

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、本学の各委員会の報告・提案を受け、学内への周知並びに大学経営会議及び教授会審議事項として妥当な事項であるかを判断することを目的とする。
- ・委員構成
議長 西野 仁 学長
委員 矢原充敏、神山高行、岩重將成、森田博文、香月康則、山本真由美
学内会議・委員会の長
- ・内容 本学の各委員会の委員長及び役職者を中心として、委員会での協議事項の報告を受け、

当該事項が学校運営上、妥当なものであるかを判断し、大学経営会議及び教授会へ答申した。

5) 危機管理会議

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、学校法人東海大学危機管理委員会と協力して、事件・事故を未然に防ぐよう教職員へ危機管理に関する啓発を行い、また防止策を検討し実施することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 岩重將成、矢原充敏、神山高行、森田博文、芳賀里美
- ・内容 本学に関わるすべての事項に関して、事故の未然防止や活動の啓蒙について話し合った。特にセクハラやアカハラは社会的にも問題になっている背景があることから、教授会を通じて誤解されない言動についても周知徹底を図った。

6) 大学評価委員会

- ・目的 本委員会は、学長の直轄機関として、本学における教育と研究及び組織と管理運営の質的向上を図るため、必要な事項の審議と点検及び評価活動を行い、学長に答申することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 真下 仁、八尋剛規、赤井ひさ子、チョウアンナ、岩重將成
- ・内容 教育研究年報の発刊、授業評価アンケートの実施検証、授業の改善に向けた取り組み、大学評価アンケートの実施検証の4つの柱を中心に協議された。
 - 1) 教育研究年報
2月下旬の発刊を目標として執筆項目及び担当者の見直しを行い、提出された原稿を元に編集した。執筆担当者からの原稿提出が遅れることが多いのが今後の課題である。
 - 2) 授業評価アンケート
2011年度実施のアンケート結果を分析し、アンケート項目や実施方法について協議した。今年度はプロジェクト研究がカリキュラムに加わったため、様式を追加した。また、平行して実施しているリアルタイム授業評価との評価の違いがあるかどうか等、比較・検証することで、授業評価をより効果的に行う方法を検討した。
 - 3) 授業の改善に向けた取り組み（教育の質の向上に向けての活動）
当該活動を行ってきたFD委員会は、本年度「教員による授業参観」、「ICT活用研修会」などを大きな柱に据えている。その本来の趣旨は、教育力の向上にあるので、大学評価委員会もなお一層FD委員会と連携を図りながら、授業参観等を支援し、効果的なものにしたい。
 - 4) 大学評価アンケート
例年と比較し全体的にポイントが下がっていることが懸念される。特に授業内容の理解度や授業への準備についてはポイントが低い。今後は授業へ取り組む姿勢について指導体制を整える必要がある。

7) 研究活動の不正防止対策委員会

- ・目的 本委員会は、学長の直轄機関として、研究活動に係わる不正防止と研究費及び競争的資金等の運営・管理を適正に行うことを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 矢原充敏、神山高行、岩重將成
- ・内容 学内研究費及び学校法人東海大学が外部から受入れる研究費について、不正を未然に防ぐための自助努力をするよう、教授会等で提議した。

8) 入試企画委員会

- ・目的 本委員会は、学長の直轄機関として、入試選抜要項を定め、東海大学短期大学（部）入試企画委員会の議を経て、総長の決裁を得てこれを実施することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 矢原充敏、神山高行、岩重將成、香月康則
- ・内容 次の内容を協議することとなっている。
 - (1) 入試の基本計画及び運営に関すること
 - (2) 入試に関する各種資料の収集・調査分析に関すること
 - (3) 入試に関する印刷出版物等の企画・立案に関すること
 - (4) その他、本委員会において必要と認められた事項

9) 「人を対象とする研究」に関する倫理委員会

- ・目的 本委員会は、人を対象とする研究が、指針に遵うものであるか否かを提出された研究計画書及び関連書類に基づいて審査することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 矢原充敏、真下 仁、宮川幹平、岡本武志
- ・内容 学長の諮問を受けて次の事項を審査し、学長に答申することとしている。
 - (1) 人を対象とする研究の倫理に関する基本的事項に関すること
 - (2) 人を対象とする研究計画と指針との適合性を審査すること
 - (3) その他、必要と認められる事項

10) 情報処理科会議

- ・目的 学科において、指導教員として把握している学生の現状報告、カリキュラムや履修・成績における問題提起・解決策など、教育運営に関わる一切の事項を検討することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏 学科主任
 - 委員 情報処理科専任・特任教員
- ・内容 まず、指導教員より問題のある学生を報告、その対処方法などを検討した。また、教員間で持ち合わせている情報の共有化を推進するとともに、各委員会へ提言する内容なども検討した。

11) 国際文化学科会議

- ・目的 情報処理科と同じ
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学科主任
 - 委員 国際文化学科専任・特任教員
- ・内容 情報処理科と同じ

12) 観光文化研究所会議

- ・目的 本研究所は、本学の建学の精神にのっとり、観光による文化交流・異文化理解を学際的に幅広く捉え、観光文化の基本的命題とその応用的課題並びにこれに関連する諸問題を総合的に研究し、観光文化の発展に寄与貢献することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 神山高行、林 鍾大、藤本幸男、北濱幹士、福田伸也
- ・内容 宗像市郷土文化交流施設及び地域学芸員養成講座、筑前七浦の会、宗像観光協会、宗像市商工会への協力を進め、地域連携部門として教育G Pで培った成果を本学の教育課程に活かし、備品・用品の管理も行った。また、所報について3月発刊に向けて原稿の取りまとめ、編集作業を実施した。

13) 図書館運営委員会

- ・目的 本委員会は、必要な図書館資料を収集・管理し、教職員・学生の利用に供し、教育及び学術研究に資することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 宮川幹平
委員 山本真由美、赤井ひさ子、北濱幹士
- ・内容 図書館運営体制として、各学科における選書及びその取りまとめ、教育システムとしての図書館の役割についての検討、図書館主催イベントの企画・運営、その他図書館運営の補助業務を図書館規程、図書館資料収集・管理規程、図書館利用規程に基づいて実施した。

14) 情報システム室運営委員会

- ・目的 本委員会は、本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援に関する事項、教材のWeb化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・e-Learning教材など学習資源の蓄積・管理・運用に関する事項に資することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 八尋剛規
委員 矢原充敏、ウェア ジーン リー、岩重將成、宮川幹平
- ・内容 今年度、以下の事項を中心に協議した。
 - (1) 学内無線LANは2012年3月までに導入が完了し稼働状況により最適化を図った。
 - (2) ノートPCは貸与2年目を向かえ、利用状況調査、点検を行った。
 - (3) コンピュータ実習室の機器について、2011年度に更新されなかった為、継続してリース延長で対応した。保守費用についても事務側と連携し不都合のないよう対応した。
 - (4) 電子黒板を2011年度にコンピュータ実習室に2台導入したので、利用説明会を実施した。
 - (5) 現在サービスを受けているSINET回線が2013年度に終了することから、サービスの見直しとルータの更新について協議した。

15) 事務室会議

- ・目的 本会議は、職員への周知事項や学校行事での担当割当などについて、説明・協議することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 岩重將成
委員 事務系職員
- ・内容 学校行事の実施などで全員に事細かな周知が必要の際は、朝礼や説明会で対応するが、通常は担当者同士の連絡で事足りている。

16) 教務委員会

- ・目的 本委員会は、本学の教務に関する事項を審議することを目的とする。特に授業及び試験の実施方法、授業時間割の編成、履修、単位認定について対処する。
- ・委員構成
委員長 矢原充敏
委員 宮川幹平、赤井ひさ子、北濱幹士、岡本武志、西村真紀子
- ・内容 教務に関わる問題は多岐に渡り、時間割・補助教育・進学に関する部会を設け対応した。今年度は、オリエンテーションウィーク内容(秋ガイダンス含む)、入学前既修得単位の認定、特別開講科目、交換留学時単位認定、時間割調整、履修登録後の登録単位数、学外授業の取り扱い、成績処理、ゼミ振り分け、定期試験(追試験含む)、学年暦、カリキュラム(教員の担当コマ数含む)、資格取得単位認定、随意科目のGPA、欠席学生への対応、指導教員体制などについて協議した。
特にカリキュラムについて、2012年度から2013年度は変更なしで運用していくことが協議された。

17) 学生委員会

- ・目的 本学学生が健全で充実した学生生活を送れるよう、これに関する事項を審議することを目的とする。また、教育システムの変化に適応した規則等の変更と整理を行ない、教育現場に齟齬を起こさないように対処することも目的の一つとしている。
- ・委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委員 北濱幹士、伊津信之介、チョウ アンナ、香月康則、古川智絵美、福田伸也
- ・内容 奨学金、学生行事、保健管理は部会を設け対応した。学生行事（学友会活動）、何でも相談、車両通学、喫煙マナー、学生状況については常に審議し、情報の共有と教職員の学生行事への関わりを推進した。奨学金については、多種多様な種類についての選考に時間を要し、留学生奨学金の選考及び採用後の指導など年間を通じた業務となっている。特に日本学生支援機構奨学金については、返還誓約書の提出、月額変更、人的保障者の変更、除籍・退学者対応、適格認定について、対象学生の状況により、機構との連絡も多岐に亘っている。また、卒業後の未返還者への対応など今後の課題も多い。

18) 国際交流委員会

- ・目的 本委員会は、本学における国際交流に関する諸事項の円滑かつ有効な実施運営を計ることを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委員 林 鍾大、藤本幸男、チョウ アンナ、ウェア ジーン リー、西村真紀子
- ・内容 次の内容を協議することとなっている。
 - (1) 学術交流協定の新規締結・更新・廃止他の計画に関する事項
 - (2) 学生・研究者・教職員の海外派遣に関する事項
 - (3) 留学生・外国人研究者の受入れ・支援に関する事項
 - (4) その他本委員会において必要と認めた事項今年度は、特に短期留学4件（韓国短期留学A・B、ハワイ短期留学、中国短期留学）の計画立案、実施、報告、交換留学の派遣と受け入れについて協議した。

19) 現代文明論委員会

- ・目的 本委員会は、本学における現代文明論の実施運営に関する事項を審議することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 宮川幹平
 - 委員 伊津信之介、真下 仁、岡本武志、森田博文
- ・内容 「現代文明論」は、東海大学の建学の精神及び教育の理念の下に展開される全学共通の必修科目である。本学における「現代文明論 I」及び「現代文明論 II」は、こうした創立者の思想や教育理念を継承し、その生き方に学びながら、東海大学が建学の精神の一つとして掲げている「若き日に汝の思想を培え」を学生自らが各講義を通じて理解し具現化することを目標に展開するものである。

2011年度に続き2012年度の現代文明論でも、「若き日に汝の思想を培え」の具現化と共に、それを支える能力として「聞く」・「書く」・「編む」・「発言する」力を培う訓練を、レポート作成と討論を通して行ってゆくことに一層の力を注いだ。「聞く」・「書く」・「編む」力が「思想を培う」こと、それを発表する力の育成を現代文明論の伏線に位置づけた。

20) キャリア委員会

- ・目的 本委員会は、本学学生の就職及び進路指導に関する事項を審議することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 岩重將成
 - 委員 宮川幹平、斎藤守正、藤本幸男、亀田俊隆、山本真由美

- ・内 容 今年度は、進路決定の質的向上と就職決定率 83% (2011 年度) 以上の達成を掲げ、就職担当：齋藤・藤本・亀田、編入学担当：宮川、データ収集：岩重・山本とし、主に次の内容を協議した。

- (1) 進路状況の動向調査
- (2) 両学科共通科目の「2 年次：進路対策 III・IV」、「1 年次キャリアプランニング」の実施計画及び次年度以降の検討
- (3) 企業実習の企画立案
- (4) 学園内推薦編入学に関する推薦候補者の指導
- (5) 進路指導体制の構築に関する立案
- (6) その他、進路に関するガイダンス・進路懇談会等の企画運営及び調査研究

キャリア教育姿とは、自立して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成し、この視点に立って日々の教育活動を展開することである。

今年度「進路委員会」から「キャリア委員会」と名称を変更し、より深くキャリア教育を実践するための施策が協議された。進路状況の動向をより深く調査し、指導対策の改善が課題となっている。

2 1) 広報戦略委員会

- ・目 的 本委員会は、本学の活性化に向けてハード面とソフト面の充実を図り、戦略的に広報活動を行うことを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 岩重將成
 - 委 員 香月康則、矢原充敏、佐竹則昭、八尋剛規、林 鍾大、亀田俊隆、岡本武志
- ・内 容 入試部会と広報部会に別れ、今年度は、入試企画、高校訪問、大学入試説明会・進学相談会、資料請求者への対応、附属高校との連携強化、メインパンフレット、オープンキャンパス・学校見学会、ホームページ・Facebook、ニュースレターなどについて協議した。

2 2) F D ・ S D 委員会

- ・目 的 本委員会は本学における教職員の教育内容及び方法の改善を図るための組織的な研修・研究の実施及び活動支援を目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏
 - 委 員 神山高行、佐竹則昭、亀田俊隆、岩重將成
- ・内 容 これまでの主に教員主体であった相互参観授業、I C T を利用した授業評価、F D 研究会の開催という基本活動方針を見直し、職員も含めた総合的プロジェクトとして年間に 9 回の研修会が予定され、東海大学が主催する研修会へも積極的に参加した。また、今年度から実施されたプロジェクト学修において、「プロジェクト基礎」を参観授業に選び「プロジェクト研究」への繋がりを協議した。

2 3) 施設・エネルギー推進委員会

- ・目 的 本学を維持管理していく上で消費する年間のエネルギー（電気・水道・ガス・燃料）量、特に電気について、東日本大震災後も節電が日本中で叫ばれている。本学もエネルギーの節減努力をし、経費減額と教職員・学生への啓蒙を図ることを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 岩重將成
 - 委 員 森田博文、八尋剛規、北濱幹士
- ・内 容 エネルギーで本学が注意すべきは電気使用量である。空調機器を吸収式からチラーに変更したためであるが、電気料金は基本料金について過去 12 ヶ月の最大需用電力で請求されるため、デマンドの管理が課題となる。今後、九州電力とも節減に向けた協議を行う。

2 4) 人権啓発委員会

- ・ 目 的 本学における基本的人権に関する意識の高揚を計るとともに、学生及び教職員が健全な社会の構築に寄与することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 西野 仁 福岡短期大学学長
 - 委 員 岩重將成、真下 仁、斎藤守正、森田博文
- ・ 内 容 人権と言っても広義であり、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、部落問題、アイヌ人、在日外国人、H I V感染者、ハンセン病患者、刑期を終えて出所した人、犯罪被害者、セクシャル・マイノリティ、インターネットによる人権侵害、国際的な人権教育、セクハラ・パワハラ・アカハラなどさまざまである。
 県内や市内で開催された人権研修会に参加し、人権に関する意識の高揚を図ることや学内への啓蒙を図った。

25) ハラスメント防止対策委員会

- ・ 目 的 本学におけるハラスメント防止と被害者を救済することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 岩重將成
 - 委 員 矢原充敏、古川智絵美
- ・ 内 容 修学上又は就労上の関係を利用してなされる次の行為がないか審議した。
 - (1) セクシュアル・ハラスメント
 - (2) アカデミック・ハラスメント
 - (3) パワー・ハラスメント
 - (4) その他のハラスメント

26) 安全衛生委員会

- ・ 目 的 関係法令及び学校法人東海大学安全衛生規程に基づき、東海大学福岡短期大学教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 岩重將成
 - 委 員 斎藤守正、古川智絵美
- ・ 内 容 教職員の安全及び健康の確保については、常に大学経営会議や健康推進室を中心に周知徹底された。小規模組織のため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから、委員会が自主的に活動できる体制にすることが課題となっている。

※他の学内委員会（特別委員会）

- 27) 研究活動の不正に関する調査委員会
- 28) ハラスメント調査委員会
- 29) 人事・懲戒委員会
- 30) コンソーシアム九州委員会

(2) キャンパス間、法人関連委員会

※10月1日現在

1) 福岡校舎連絡協議会

- ・目的 福岡キャンパスとしての認識を再確認するとともに、現状を把握し、3つの教育機関が互いに協力していくことを主たる目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 福岡短期大学学長
 - 委員 (短大) 矢原充敏 情報処理学科主任、神山高行 国際文化学科副主任、岩重將成 事務室長
 - (五高) 武富正治 校長、津山憲司 副校長、平 清孝 教頭、辛島久樹 事務長 (自由ヶ丘幼稚園兼務)
 - (自幼) 中村武徳 園長、中村純子 教頭代理
- ・内容 各校舎より教育体制の現状が報告され、様々なイベント等に協力して参加できる体制作りを目指した。高大連携についても連携強化に向けた内容が協議された。特に本学の再建に伴う学内外看板、赤間駅への3教育機関パンフレット等設置、学校行事への協力、クラブ活動の5ヵ年計画など、意見交換を行った。
 今後のキャンパスの活性化に向けて、行事の一本化や教職員の交流を活発化させる課題があるが、年々各機関とも学校運営を優先させるため継続的な審議となっている。一貫教育を中心とした体制作りができないか、今後検討が必要である。

2) 一貫教育委員会 (福岡校舎)

- ・目的 付属第五高校や望星高校福岡校との高大連携に関する事項を調査研究し、答申すること。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏
 - 委員 神山高行、岩重將成
- ・内容 多くの付属推薦入学者確保に繋げることを目的として、付属第五高校との連携授業「東海キャリアチャレンジ」を実施し、生徒に対して早期に本学教育への意識付けを行った。また、付属第五高校現代文明論講義にも本学教員が講義した。
 法人の一貫教育委員会のテーマとは別に、基礎学力低下問題や目的意識の不透明化などが共通した課題であることから、より多くの意見交換を行う場を設け、福岡キャンパスが一体となった取組と活用方法が当面の課題となった。

※他の委員会

- 3) 東海大学短期大学 (部) 紀要委員会
- 4) 東海大学短期大学 (部) スポーツ大会運営委員会
- 5) 東海大学短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会

3. 事務組織

(1) 職員数

2012年10月1日現在

区分	事務職員			技術職員			臨時職員			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務室	4	4	8	0	0	0	1	1	2	5	5	10
情報システム室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
図書館	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
健康推進室	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2

※健康推進室に兼務者1名あり

(2) 職員名簿 (臨時職員を除く)

所属	氏名	役職	身分	法人採用 年月日	福岡短期 大学発令 年月日	現職発令 年月日	備考
事務室	岩重 將成	室長	副参事	1979.4.1	2012.4.1	2012.4.1	
	森田 博文	室長補佐	主事	1987.4.1	2003.4.1	2011.4.1	
	香月 康則	係長	主事	1988.4.1	2001.4.1	2010.4.1	
	山本 真由美	係長	副主事	1975.4.1	1996.4.1	2008.4.1	
	西村 真紀子		副主事	1987.4.1	1997.4.1	2009.4.1	
	芳賀 里美		副主事	1981.4.1	2005.4.1	2010.4.1	
	胡子 直子		主査	1993.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
	福田 伸也		特任職員	2011.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
情報システム室	八尋 剛規	室長	准教授	1992.4.1	1992.4.1	2012.4.1	
図書館	宮川 幹平	館長	准教授	2003.5.1	2003.4.1	2012.4.1	
健康推進室	岩重 將成	室長	副参事	1979.4.1	2012.4.1	2012.4.1	兼務
	古川 智絵美		中級保健技術員	1999.4.1	1999.4.1	2009.4.1	

(3) 教職員の研修等

NO.	期間	研修会名称	開催場所	出席者名
1	5/18-19	2012年度新任考課者研修	東海大学代々木校舎	神山 高行、岩重 將成
2	5/29	平成24年第1回宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
3	6/1	福岡地区短期大学学生部懇談会	福岡こども短期大学 厚生会館2階	福田 伸也
4	6/27	宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
5	6/29	平成24年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡大学	西村 真紀子、胡子 直子
6	7/17	ポートフォリオ・LMSの先端事例紹介 2012	深見ビル A会議室	宮川 幹平
7	8/20	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会「夏期研修会」	純真短期大学	山本 真由美
8	8/23-24	学校法人東海大学経理研修会	東海大学代々木校舎	岩重 將成、芳賀 里美
9	8/27	日商ネット試験研修会	福岡商工会議所	矢原 充敏
10	9/4	平成24年度 心の健康セミナー	大博多ホール	古川 智絵美
11	9/6	第38回福岡県私立短期大学教務担当者連絡会	九州造形短期大学 会議室	西村 真紀子
12	9/19	学校法人東海大学中堅リーダー研修	孺恋高原研修センター	胡子 直子
13	10/27	「プロフェッショナルに学ぼう、将来について語ろう!!!」講演会	福岡県中小企業振興センター	林 鍾大、八尋 剛規、岡本 武志
14	12/3	第4回「プロフェッショナルに学ぼう、将来について語ろう!!!」	小倉興産 KMM ビル	岡本 武志
15	12/14	府省共通研究開発管理システム (e-Rad) 更新に係る新システム説明会	九州大学 箱崎キャンパス 創立五十周年記念講堂	西村 真紀子
16	12/13-14	うみんぐ大島ほか宗像市内観光素材体験会	宗像市内	北濱 幹士
17	1/18	スポーツ医・科学専門講座「ジュニア選手のためのフィットネステストとその評価法」	福岡県立スポーツ科学情報センター (アクション福岡)	岡本 武志
18	1/30-31	観光中核人材育成事業 先進地派遣研修	熊本県阿蘇市	西野 仁、藤本 幸男
19	2/18	宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
20	2/24	第34回日本図書館協会施設委員会 図書館建築研修会「にぎわい・ふれあい空間を考える」	明治大学和泉図書館	宮川 幹平
21	3/6	女性の健康セミナー参加	メイトム宗像	古川 智絵美
22	3/26	平成25年度福岡市レインボー留学生奨学金 制度改正説明会	(公財)福岡国際交流協会	福田 伸也

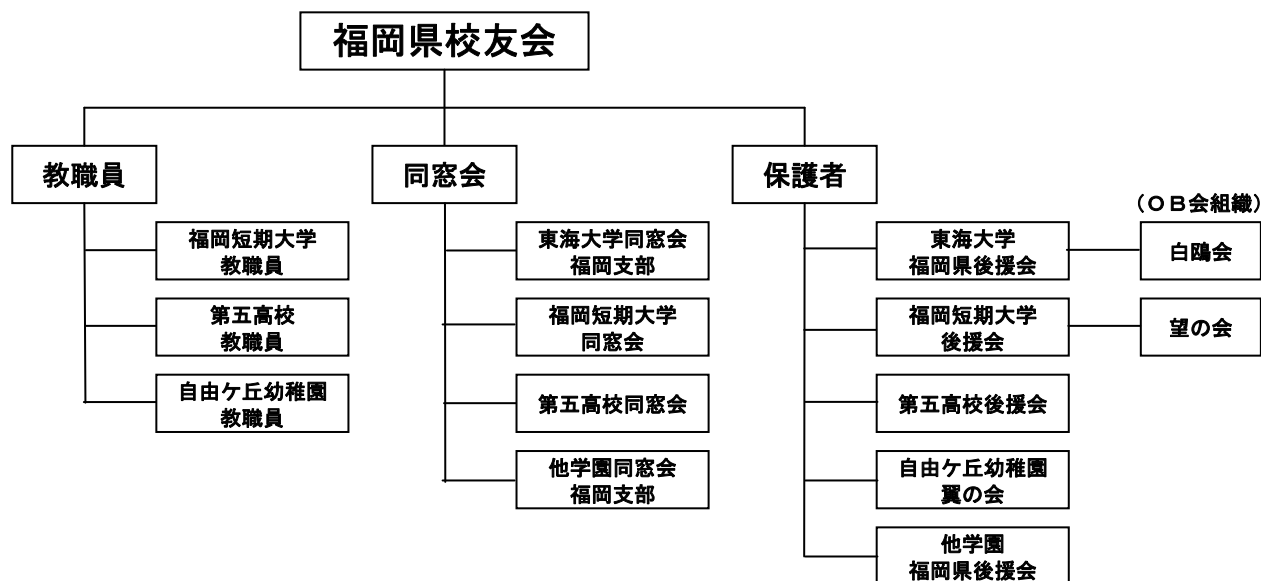
4. 校友会組織

(1) 福岡県校友会

校友会とは、学園各教育機関（本学および東海大学、東海大学短期大学部（高輪・静岡）、東海大学医療短期大学、附属諸学校）の後援会（PTA含む）、同窓会、および後援会のOBで組織する望の会や白鷗会等の会員と教職員で構成し、会員相互の友好と親睦を深め、東海大学学園の発展並びに社会的活動の推進に寄与することを目的としている。

福岡県校友会は、以下の組織の役員と会員をもって構成し、本学からは、同窓会、後援会、望の会が所属している。なお、代表幹事には、東海大学同窓会福岡支部長で同窓会九州ブロック会長の木田文武氏が就任、事務局長は附属第五高校事務長（附属自由ヶ丘幼稚園事務長兼務）の辛島久樹氏が務めている。

福岡県校友会組織図



(2) 同窓会

卒業生をもって組織し、会員相互の親睦を図り、会の運営を通じて社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与することを目的としている。

活動の中心は、総会であり隔年で開催している。例年、入学式、学位授与式に来賓として参列し、校友会のイベントにも積極的に参加している。特に宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

建学祭においては、11月3日に福岡短期大学内において「総会及び同窓生パーティー」を開催し、同窓生の交流の場となった。2013年度は総会の実施年ではないので、模擬店（やきとり 柘君）を出店する予定である。また、様々なイベントに同窓生が参加していただけるような組織にしていかなければならない。

卒業記念パーティーでは、会長が卒業生に対して祝辞を述べた。例年、新会員の中から新役員を選出しているが、恒常的に役員会に出席できる卒業生を選出することが今後の課題となっている。

今年度も同窓会会報「何しよう？」第14号を発行（毎年1回）し、会員相互交流の一助を担っている。第8号より新聞形式で学園全体の情報も織り交ぜながらの発刊となっている。

・2012年度役員

会 長	久峯 直哉	(1991年度情報処理科卒：1期生)
副会長	岩坂 良子	(1998年度情報処理科卒：8期生)
副会長	林田 勝博	(1994年度情報処理科卒：4期生)
総務・会計	細川潤一郎	(2002年度国際文化学科卒：12期生)
監 査	有馬 千明	(2009年度国際文化学科卒：19期生)
監 査	高田 香苗	(2009年度国際文化学科卒：19期生)
総 務	大淵 義弘	(2002年度情報処理科卒：12期生)
幹 事	柘寄 博之	(1991年度情報処理科卒：1期生)
	摩嶋 昌代	(1998年度情報処理科卒：8期生)
	中川智恵子	(2000年度情報処理科卒：10期生)
	塘 将典	(2002年度情報処理科卒：12期生)
	山本 健一	(2003年度国際文化学科卒：13期生)
	田中 裕子	(2003年度情報処理科卒：13期生)
	内田 美鈴	(2005年度情報処理科卒：15期生)
	宮原佳菜子	(2005年度国際文化学科卒：15期生)
	大庭信太郎	(2006年度情報処理科卒：16期生)
	磨井 知穂	(2006年度国際文化学科卒：16期生)
	樋口 祐哉	(2007年度情報処理科卒：17期生)

山下 佑美 (2007 年度国際文化学科卒 : 17 期生)
吉武 元樹 (2008 年度情報処理学科卒 : 18 期生)
山田麻真子 (2008 年度国際文化学科卒 : 18 期生)
山下友紀恵 (2010 年度国際文化学科卒 : 20 期生)
久富 漢子 (2011 年度国際文化学科卒 : 21 期生)

事務局長 森田 博文 (福岡短期大学事務室)

(3) 後援会

本会は本学在学生の保護者をもって組織し、本学と後援会との密接な連絡により、相互の親睦を深め、本学の発展と向上を計ることを目的として、2か月に1回のペースで役員会を行い、9月初旬に後援会総会及び保護者面談会を開催した。また、九州・山口地区には教職員を派遣し、独自に保護者面談会を開催した。3月には進路懇談会を開催した。

その他、本学の入学式、学位授与式、建学記念式典等主要行事に役員が出席し会長が祝辞を述べ、リーダーズ研修会では参加学生への差し入れなどエールを送った。

なお、昨年に引続き、建学祭へは資金援助だけではなく、学生行事の理解を深め協力すること及び保護者の参加促進を目的とし、模擬店(喫茶夢僚)の来店を行った。また、宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

今後共こうした活動を通じて保護者の大学理解を促進することも大切な活動との認識を深めることができた。

・2012 年度役員

顧問	池田 弘	(望の会会長)
顧問	山下 晴路	(望の会事務局長)
会長	大塚 誠治	(情報処理2年生保護者)
副会長	鍋島 洋子	(国際文化2年生保護者)
副会長	山本真紀子	(情報処理2年生保護者)
副会長	田中みゆき	(国際文化1年生保護者)
事務局長	森 福子	(情報処理2年生保護者)
会計	市津久美代	(国際文化1年生保護者)
会計	梅山久美子	(国際文化1年生保護者)
監査	原 りえ子	(国際文化1年生保護者)
監査	豊里 直美	(情報処理1年生保護者)

(4) 望の会

本学卒業生の保護者を会員として相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的として毎年、建学祭期間中の11月3日に総会を開催している。

なお、望の会と後援会は表裏一体の関係であるとの認識を確認し、後援会活動に出来る限り参加した。2004年度より後援会役員会に顧問として参加することとなり、会長が総会の議長を務めている。

また、校友会などを通じて他団体との懇親を深めることも行った。更に2006年2月からは社会奉仕の一環として赤間駅周辺清掃活動を開始する等、活動の活性化を図っている。宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

・2012 年度役員 (任期・2ヶ年)

顧問	堤田 賢一 (1991 年度卒業生保護者)、安武 信之 (1992 年度卒業生保護者)
相談役	片山 忠和 (1991 年度、1994 年度卒業生保護者)、
会長	池田 弘 (1995 年度卒業生保護者)
副会長	土師 紀生 (1994 年度卒業生保護者)、大淵 茂樹 (1993 年度卒業生保護者)
	村上 英子 (2002 年度卒業生保護者)
事務局長	山下 晴路 (2006 年度卒業生保護者)
事務局次長	田中賀由里 (2008 年度卒業生保護者)

5. 諸規程

規程 番号	規程名称	管理 部署	制定日	改訂日
▶学則/学則・園則				
130	東海大学福岡短期大学学則	事務室	1990/04/01	2012/04/01
▶組織及び業務分掌/学(校・園)長会議・教授会等				
850	東海大学福岡短期大学教授会規程	事務室	1990/04/01	2007/04/01
▶組織及び業務分掌/大学・短大付置研究所				
5150	東海大学福岡短期大学観光文化研究所規程	事務室	1996/04/01	2007/04/01
▶総務/総務・契約・調達				
953	東海大学福岡短期大学安全衛生規程	事務室	2009/04/01	
▶総務/人権				
1120	東海大学福岡短期大学人権啓発委員会規程	事務室	1996/04/01	2007/04/01
1817	東海大学福岡短期大学個人情報保護委員会規程	事務室	2005/04/01	
▶人事/人事(任用・資格・研修・出向)				
1530	東海大学福岡短期大学教員資格審査委員会規程	事務室	1997/04/01	
1532	東海大学福岡短期大学教員資格審査小委員会規程	事務室	2003/09/01	2007/04/01
▶人事/学長・校長等選任				
1260	東海大学福岡短期大学主任教授選任規程	事務室	1991/04/01	2007/04/01
▶学務/教務・委員会(教務・運営・教育等)				
3121	東海大学福岡短期大学企画調整会議規程	事務室	2009/04/01	
3122	東海大学福岡短期大学教学委員会規程	事務室	2002/04/01	2009/04/01
3124	東海大学福岡短期大学FD委員会規程	事務室	2009/04/01	
3145	東海大学福岡短期大学教員授業担当規程運用内規	事務室	2003/04/01	
▶学務/学修・教育補助				
3130	東海大学福岡短期大学学修に関する規則	事務室	1990/04/01	2008/04/01
▶学務/一貫教育・現代文明論				
3150	東海大学福岡短期大学現代文明論委員会規程	事務室	1993/04/01	2007/04/01
▶学務/学位				
3135	東海大学福岡短期大学学位規程	事務室	2006/03/01	
▶学務/表彰・基金・奨学金				
4230	東海大学福岡短期大学奨学金規程	事務室	1995/10/01	2008/04/01
4242	東海大学福岡短期大学資格取得奨励奨学金に関する細則	事務室	2008/04/01	2012/04/01
4244	東海大学福岡短期大学沖縄県竹富町との交流協定奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01	
4246	東海大学福岡短期大学学習奨励奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01	2004/09/01
4251	東海大学福岡短期大学遠隔地奨学金に関する細則	事務室	1998/04/01	2004/04/01
4255	東海大学福岡短期大学付属高校特別奨励奨学金に関する細則	事務室	2001/09/01	2013/04/01
▶学務/試験・再履修				
3140	東海大学福岡短期大学試験に関する細則	事務室	1990/04/01	2009/04/01
▶学務/科目履修生・研究生・聴講生・受託生等				

3670	東海大学福岡短期大学科目等履修生に関する規程	事務室	1994/04/01	2001/04/01
3680	東海大学福岡短期大学研究生に関する規程	事務室	1990/04/01	2002/04/01
▶学務/地域教養講座・公開セミナー等				
3163	東海大学福岡短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会規程	事務室	2002/04/01	2007/04/01
▶学務/大学評価				
4900	東海大学福岡短期大学大学評価委員会規程	事務室	1992/11/01	2007/04/01
▶学務/入学試験				
4810	東海大学福岡短期大学入学者選抜関係規程	事務室	1990/04/01	2007/04/01
4915	東海大学福岡短期大学広報・入試委員会規程	事務室	2002/04/01	2007/04/01
4920	東海大学福岡短期大学入学試験運営組織及び業務分掌規程	事務室	1997/04/01	
▶学生/学生生活・賞罰・学塾				
1830	東海大学福岡短期大学保健管理委員会規程	事務室	1997/04/01	2009/04/01
3330	東海大学福岡短期大学学生生活に関する規則	事務室	1990/04/01	2011/04/01
3392	東海大学福岡短期大学学生の車両通学に関する規則	事務室	1997/09/01	2009/10/01
▶学生/就職				
4926	東海大学福岡短期大学職業紹介業務運営規程	事務室	2003/10/01	
4928	東海大学福岡短期大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	事務室	2003/10/01	2007/04/01
4929	東海大学福岡短期大学進路委員会規程	事務室	2002/04/01	2009/04/01
▶研究/安全管理(研究・実験等)				
3153	東海大学福岡短期大学「人を対象とする研究」に関する指針	事務室	2012/04/01	
3154	東海大学福岡短期大学「人を対象とする研究」に関する倫理委員会規程	事務室	2012/04/01	
3165	東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会規程	事務室	2007/04/01	
3166	東海大学福岡短期大学研究活動の不正に関する調査委員会規程	事務室	2007/04/01	
3167	東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口規程	事務室	2007/04/01	
▶国際/国際交流・海外研修・留学生(派遣・受入等)				
3141	東海大学福岡短期大学学生の留学に関する規程	事務室	1998/04/01	2007/04/01
3143	東海大学福岡短期大学国際交流委員会規程	事務室	2009/04/01	
▶図書館/図書館(運営・図書)委員会				
5370	東海大学福岡短期大学図書館規程	事務室	1990/04/01	2012/04/01
▶図書館/資料(収集・管理)・帯出・利用				
5390	東海大学福岡短期大学図書館資料収集・管理規程	事務室	1990/04/01	2012/04/01
5400	東海大学福岡短期大学図書館利用規程	事務室	1990/04/01	2012/04/11